

## 令和6年度 学校評価アンケート結果報告

平支援学校

「学校評価アンケート」へのご協力いただき、ありがとうございました。

令和6年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

今年度もアンケート結果を数値に置き換えて分析評価を行い、本校の学校経営・運営ビジョンにおいて示している「子どもとともに（授業の充実）」「地域とともに（連携の推進）」「仲間とともに（専門性の向上）」の3つの視点から考察し、改善策の検討を図りました。

評価の各数値(指数)の目安は、次のとおりです。

- ① 1.5～2.0 = 「とても良好な状態」
- ② 1.0～1.4 = 「良好な状態」
- ③ 0.0～0.9 = 「改善が必要な状態」
- ④ 0.0 未満 = 「緊急的な対応が必要な状態」



## <子どもとともに（授業の充実）>

保護者アンケート	
① 学校は、「個別の教育支援計画」により誰もが主体的に学び、成長できる教育を実践していますか。	1.62
② 学校は、ICT（情報通信技術）を積極的に活用し、豊かな体験的学習を推進していますか。	1.43
③ 学校は、お子さん自身が自分の健康を考える力を育てていますか。	1.34
④ 学校は、安全な学習環境を整えるとともに、防災教育の充実を図っていますか。	1.57
⑤ 学校は、お子さんの成長段階に応じたキャリア教育を実践していますか。	1.46
⑥ 学校は、現場実習や職業教育の充実を図るなど社会参加・自立に向け、お子さんに合った教育を行っていますか。	1.54
地域アンケート	
① 子どもたちの学校での様子は、楽しそうですか。	1.56
② 学校は、ICT（情報通信技術）の活用や体験的な活動を取り入れながら授業を行っていますか。	1.22
③ 学校は、心身共に健康な子どもの育成に取り組んでいますか。	1.56
④ 学校は、将来働くことへの意義や喜びについて学べるような授業を行っていますか。	1.22
児童生徒アンケート	
① 学校（学級）は楽しいですか。	1.22
② あなたの身体や健康に関することを、わかりやすく教えてくださいませんか。	1.56
③ あなたの進路の参考となる話を、わかりやすく教えてくださいませんか。	1.56
教職員アンケート	
① 「個別の教育支援計画」により誰もが主体的に学び、成長できる教育を実践している。	1.22
② ICT（情報通信技術）を積極的に活用し、豊かな体験的学習を推進している。	1.12
③ 児童生徒自身が自分の健康を考える力を育てている。	0.85
④ 安全な学習環境を整えるとともに、防災教育の充実を図っている。	1.28
⑤ 児童生徒の成長段階に応じたキャリア教育を実践している。	1.12
⑥ 現場実習や職業教育の充実を図るなど、社会参加・自立に向け、児童生徒に合った教育を行っている。	1.28

### 【評価分析と考察】

「良好な状態」以上の評価が多かった。授業に関しては、学校経営・運営ビジョンにもある『自ら思考、判断、表現する力の育成』を目指して、各学部でICTを活用し、体験的な活動を取り入れながら工夫して実践していることが、児童生徒の主体的な学びとなり、学習の楽しさや楽しい学校生活につながっていると考えられる。また、『自立・社会参加のためのキャリア教育の充実』を目指して、多くの地域資源を活用し、校外学習や現場実習等を行っていることで、児童生徒自身が自分の将来を考え、地域での社会参加に向けての意識を少しずつ高めることができるようになってきている。一方で『健やかな心身の育成』を目指す中で、昨今の感染症の流行や気候変動からなる日常生活での健康面への不安について、どのように児童生徒自身が考え、どのようなことに取り組んでいくべきかが整理されていない部分が教職員の評価が伸びない要因の一つと考える。今後は、児童生徒が自分の健康を考える力を身に付けるために、健康・防災教育に関する授業の充実やより安心・安全な学習環境の整備を図っていくようにしたい。

<地域とともに（連携の推進）>

保護者アンケート	
⑦ 学校は、保護者とともに「個別の教育支援計画」を策定し、地域で生活するための適切な支援を行っていますか。	1.51
⑧ 学校は、保護者、学校医、看護師等と情報を密にし、安全な学習環境を整えていますか。	1.69
⑨ 学校は、地域と連携を図り、校外学習等の充実を図っていますか。	1.57
⑩ 学校は、ICT を活用し、他校との協働活動等を推進していますか。	1.46
⑪ 学校は、早期教育相談「あ・そ・び・ば」や教育相談など、地域の保育所や幼稚園、小、中、高等学校への教育的支援を行っていることをご存じですか。	1.76
⑫ 学校は、積極的な広報活動により、学校の活動状況を広く発信していますか。	1.61
地域アンケート	
⑤ 学校は、学校通信やホームページなどを通して情報提供に努めていますか。	1.78
⑥ 学校は、子どもが地域で生活するために個に応じた適切な支援が行えるように、個別の教育支援計画を活用しながら地域と連携を図っていますか。	1.00
⑦ 学校は、交流学习や校外学習など地域とのつながりを深めるよう努めていますか。	1.78
⑧ 学校は、地域の幼稚園や小・中学校など、校外への支援に取り組んでいますか。	1.44
児童生徒アンケート	
④ 学校に何でも話せる友達はいますか。	1.15
⑤ 皆さんが中心となって参加できる学校行事になっていますか。	1.52
⑥ 校外学習や交流学习は楽しい（勉強となる）活動になっていますか。	1.59
⑦ 先生は、あなたの家族（お父さん・お母さん）とよく話をしていますか。	1.56
教職員アンケート	
⑦ 保護者とともに「個別の教育支援計画」を策定し、地域で生活するための適切な支援を行っている。	1.29
⑧ 保護者、学校医、看護師等と情報を密にし、安全な学習環境を整えている。	1.51
⑨ 地域と連携を図り、校外学習等の充実を図っている。	1.30
⑩ ICT を活用し、他校との協働活動等を推進している。	0.83
⑪ 早期教育相談「あ・そ・び・ば」や教育相談など、地域の保育所や幼稚園、小、中、高等学校への教育的支援を行っている。	1.40
⑫ 積極的な広報活動により、学校の活動状況を広く発信している。	1.14

【評価分析と考察】

「良好な状態」という評価が多かった。保護者との個別懇談を通して児童生徒の「個別の教育支援計画」を策定しているが、今後もより地域生活で活かせるものにしていくようにしたい。『地域支援センターとしての機能充実』に向けて、早期教育相談「あ・そ・び・ば」では今年度も多くの参加があり、活動の様子を学校ホームページや NOTE に掲載し情報を発信している。また地域の保育所や幼稚園、小・中・高等学校への教育的支援も随時実施しており、このことが地域との連携推進として評価が得られている要因の一つと考える。しかし、交流及び共同学習に関しては、昨年度より学習を再開したがまだ学習内容を深めることができていない部分が教職員の中での課題となっており、評価が伸びない要因と考える。今後も地域にある教育資源を積極的に活用するとともに、学校での児童生徒の学習の様子を発信していくことを継続していくようにしたい。

<仲間とともに（専門性の向上）>

保護者アンケート	
⑬ 学校は、計画的な校内研究、研修、講習会等を行い、専門性の向上を図っていますか。	1.54
⑭ 学校は、地域の学校等に対しても研修の場を提供していますか。	1.38
⑮ 学校では、ICT活用を推進するチームを強化し、活用計画を策定したり、ICT活用に係る各種研修を実施し、有効な活用を推進していることをご存じですか。	1.20
⑯ 学校は、個別の指導計画や指導方法の引継ぎを密にして、お子さんの育成すべき資質や能力を見極め、最適な学びを実現していますか。	1.42
地域アンケート	
⑨ 学校の教育目標や努力目標は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっていますか。	1.11
⑩ 子ども一人一人が大切にされている学校になっていますか。	1.78
⑪ 教師は、ICT（情報通信技術）を活用しながら授業を工夫したり相互に協力したりしながら子どもの指導にあたっていますか。	1.00
⑫ 教職員は、来校時など適切な対応をしていますか。	1.89
児童生徒アンケート	
⑧ 授業はわかりやすいですか。	1.33
⑨ 授業の内容や進め方は、あなたに合っていると思いますか。	1.37
⑩ 相談や悩みなど、気軽に先生に相談できますか。	1.19
教職員アンケート	
⑬ 計画的な校内研究、研修、講習会等を行い、専門性の向上を図っている。	1.43
⑭ 地域の学校等に対しても研修の場を提供している。	1.23
⑮ ICT活用を推進するチームを強化し、活用計画を策定したり、ICT活用に係る各種研修を実施し、有効な活用を推進している。	0.95
⑯ 個別の指導計画や指導方法の引継ぎを密にして、お子さんの育成すべき資質や能力を見極め、最適な学びを実現している。	1.29

【評価分析と考察】

「良好な状態」以上の評価が多かった。今年度も本校では、校内研究や講習会、外部講師を招いての各種研修会など計画的に行い、教職員の専門性の向上に努めている。『「チーム平」としての組織力向上』に向けて、教職員間で活発な意見交換をしながら児童生徒の育成すべき資質や能力を把握し、系統的・発展的な指導を心がけて授業を行ったり、研究を進めたりしているところが今年度も評価の向上につながっていると考えられる。しかし、全体を通してICTの活用に関して評価が伸びていない。これまでGIGAスクール構想の実現に向けて、学校内でのICT活用のための環境整備が進められてきており、授業への活用方法についても、校内研修や講習会などで実施してきたところである。児童生徒の個々の実態に合った方法で、どのようにICTを活用したらより充実させていけるかに悩んでいる教職員も多いことから、今後も研修会や講習会で得た知識や技術を実践に活かしたり、周囲の教職員と連携を図ったりしながら、学校全体でICTに関する取り組みを増やし、実践力を高めていくようにしたい。